

Sound[♪]

vol. 56

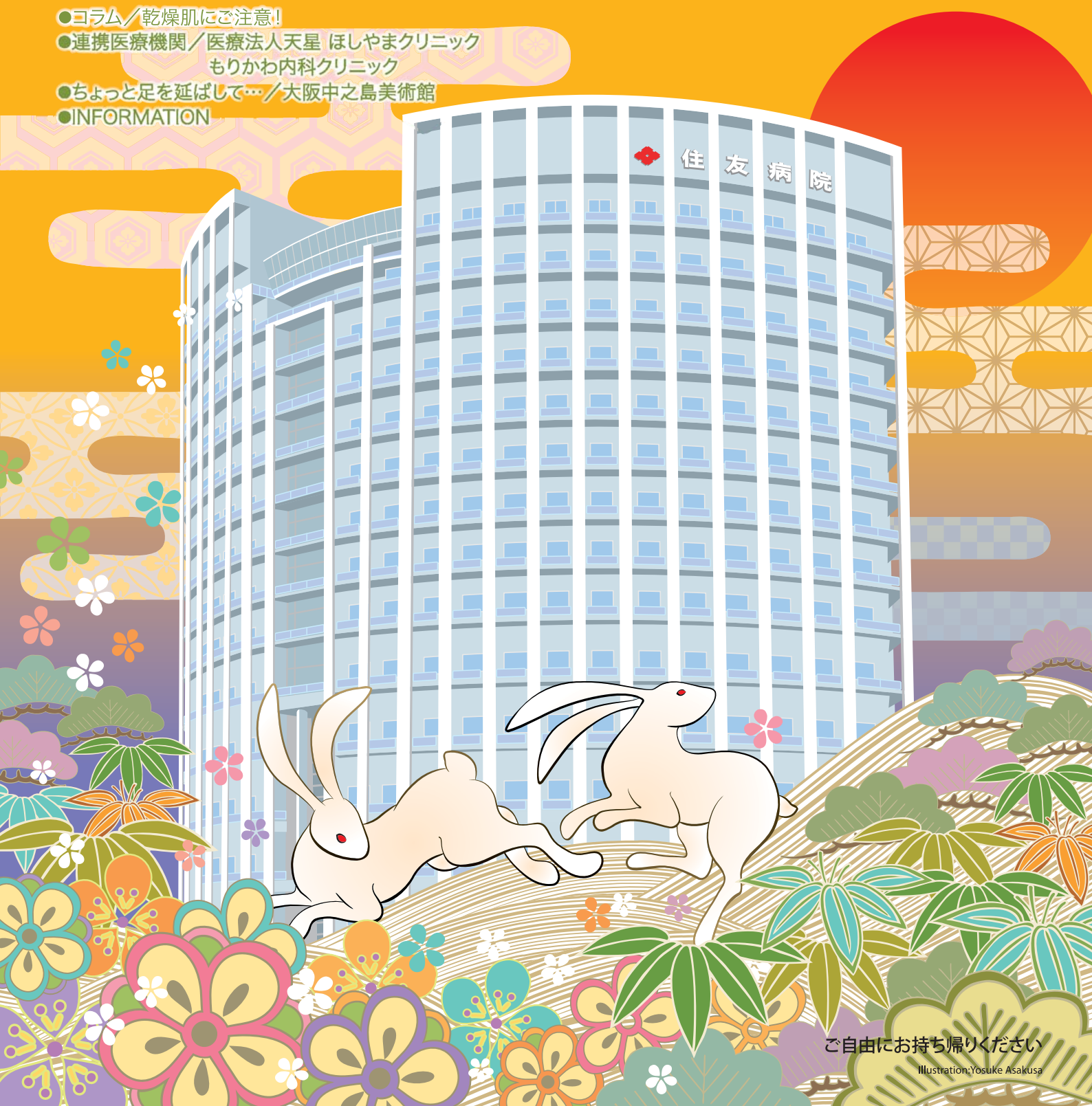
2023 WINTER

住友病院だより【さうんど】

特集

住友病院のがん治療 ～安心・安全な医療のご提供とサポート体制～

- コラム／乾燥肌にご注意!
- 連携医療機関／医療法人天星 ほしやまクリニック
もりかわ内科クリニック
- ちょっと足を延ばして…／大阪中之島美術館
- INFORMATION



ご自由にお持ち帰りください

Illustration: Yosuke Asakusa

内視鏡・放射線治療



手術療法では、体にメスを入れるため体に負担がかかることや、術後合併症が起こる可能性があり、切除する部位によっては臓器や体の機能が低下する可能性もあります。その可能性を軽減するために、早期がんを内視鏡で切除したり、胸腔鏡下手術や腹腔鏡下手術などの鏡視下手術を行います。当院でも内視鏡下切除や鏡視下手術（ロボット支援手術、ダヴィンチ含む）などの低侵襲手術を積極的に行っています。

標準療法と呼ばれます)を選択します。

**安心・安全な
医療のご提供**

すことができますので、根治の可能性が高いことです。

当院では、各科の垣根を超えた協力体制で、迅速に診断を行い、個々の患者さまの状態および進行度に応じた治療につなげるよう心がけています。



外科的治療

手術療法は、メスでがん組織を切り取ってしまう治療法です。がんの病巣だけではなく、目に見えないがん細胞が移っているかもしれない周囲の組織やリンパ節を含めて切除することが最も一般的です。また、再発病変を手術で切除することもあります。手術療法のメリットは、完全に切除できれば体内からがんを消すことができますので、根治の可能性が高いことです。

内科的治療

抗がん剤によつてがん細胞を死滅させたり増殖を抑えたりする治療法です。抗がん剤は注射や内服で全身に広く薬が行き渡りますので、薬物療法は全身の治療といえます。治療の目的は①治療を目指す、②手術の効果を高める(再発予防、術前に腫瘍を小さくする)、③進行を遅らせたり症状を緩和する、とがんの種類の進行度によつて異なります。

抗がん剤には、がん細胞の分裂を邪魔すること
で細胞を殺すいわゆる抗がん剤、あ

る特徴を持ったがん細胞を攻撃する分子標的薬、ホルモンの影響

で増殖するがんに対するホル
モン療法薬があります。一般

的には、これらの抗がん剤を組み合わせる治療が行われ、

レジメン(治療計画)に抗がん剤の組み合わせ、投与量と日数、

休業期間が定められています。患者さまの状態に応じて、有効性が科学的に

証明されたレジメンから、最も適した治療法と標準療法と呼ばれる)を選択します。

ラジオ波焼灼術(RFA)の 保険適用が認められました。

2021年12月、悪性腫瘍の治療法のひとつであるRFA治療に対し、下記の治療に関して保険適用が認められました。

- ・肝腫瘍及び小径腎悪性腫瘍、一部または全体の凝固及び焼灼
- ・標準治療に不応・不適の以下の腫瘍に対する治療(症状緩和を含む)を目的とした凝固及び焼灼

肺悪性腫瘍、類骨骨腫、骨盤内悪性腫瘍
四肢、胸腔内及び腹腔内に生じた軟部腫

○キャンサーボードの実施

当院では各診療科のがんの専門医が一堂に会してひとつの症例の治療方針を検討するカンサーボードを実施しています。



○当院は「地域医療支援病院」に認定されています。

当院は、2022年3月24日付けで大阪府知事より「地域医療支援病院」に認定されました。これは、地域のかかりつけ医等よりご紹介された患者さまに、専門的治療や検査、入院、手術の医療の提供を通じて、かかりつけ医等の支援を行い、地域医療全体の充実を図ることを目的に知事から承認を受けた病院です。

集
え!?! 私のがんに・・・

住友病院のがん治療

～安心・安全な医療のご提供とサポート体制～

＜大阪府がん診療拠点病院＞

「がん」と診断されたとき、その瞬間から誰でも治療に対する不安やこれからの生活・仕事に対しての不安など、途方にくれる状態になります。今号では、住友病院のがん治療について、手術や放射線などの治療はもちろん、サポート体制についてもご紹介します。

住友病院は「大阪府がん診療拠点病院」です

大阪府がん診療拠点病院とは、5大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)の診療機能が高く、緩和ケアの充実、在宅医療の支援、がん患者・家族等に対する相互支援、がんに関する各種情報の収集・提供等の機能を備え、地域における医療の充実に努めていると認定された病院です。つまり、専門的ながん医療を提供すると同時に、地域の医療機関との連携や相談支援センターの運営、がんについての情報提供などを行っている病院に指定されるものです。指定医療機関数は府内46病院で、拠点病院間において相互に連携し、がん治療の水準の向上に努めています。

＜がん診療拠点病院の主な指定要件＞

- ・クリニカルパス（入院中の治療や検査の標準的な経過説明をするための計画書）の整備
- ・緩和ケアマニュアルの整備
- ・がんサージカルボードの実施
- ・診療実績 院内がん登録年間200件以上・悪性腫瘍手術件数年間200件以上
薬物療法延べ患者数400例以上・緩和ケアチーム新規介入年間35例以上

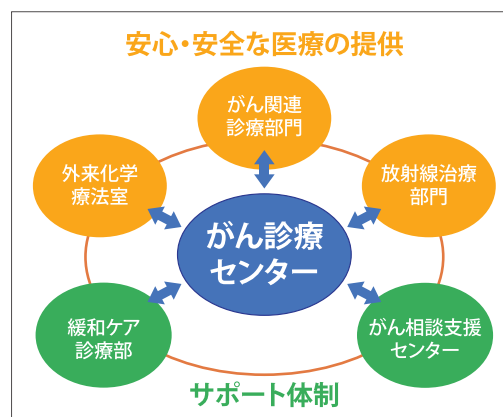
住友病院で治療可能ながん

5 大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)の他にも以下の領域のがんの治療を行っています。
女性生殖器(子宮がん、卵巣がんなど)・頭頸部(甲状腺がん、咽頭がんなど)・造血器(白血病、悪性リンパ腫など)
消化器(食道がん、胆のうがん、膵臓がんなど)・脳(神経系がん、転移性がんなど)
泌尿器(前立腺がん、腎がん、膀胱がんなど)・その他(皮膚がんなど)

※小児がん、骨軟部がんは専門性が高いため、診断後に連携している専門のがん拠点病院への紹介となります。

がん診療センター

当院では、がん関連診療部門（外科、血液内科など）と外来化学療法室や放射線治療部門が連携して滞りながん治療を行い、さらに患者さまやご家族に充実のサポートを受けていただくための体制を整えるがん診療センターを設置しています。このがん診療センターを中心に診療科を超え、一貫したがん治療と充実のサポート体制により安心・安全な医療をご提供しています。



① 緩和ケアチーム

「緩和ケア」って何？何をしてくれるの？
いつ必要なの？とよく尋ねられます。

緩和ケアは、病状の程度や時期にかかわらず、誰もが自分らしく過ごせるようにサポートする取り組み全般をいいます。がん治療では「手術」「化学療法」「放射線治療」を3つの柱と説明されますが、私たちは緩和ケアを、それらと並ぶ大きな柱であり治療全体を支える土台だと考えています。診断されたとき、治療を進めていくとき、残念ながら治療がうまくいっていないとき、体につらさを感じているとき、これから先に不安を感じたときなど、いつでもお手伝いさせていただきます。緩和ケアが必要ない時期や、緩和ケア



ができない時期もありません。より良い治療、生活のために、緩和ケアチームにご相談ください（チームの介入のご希望は主治医・看護師にお伝えください）。

② がん相談支援センター

がんの治療を
されている患者
さまはいろいろ
なことで悩みを
抱えていらっしゃる
と思います。

例えば、検査・
治療・副作用のこ
とや治療と仕事
の両立について。

また、医療者に疑問や希望を上手く伝えられない方や家族として患者にどう接すればよいかわからない方、不安な気持ちを話したい方、そういった疑問や悩みを専門の相談員と一緒に考えていけるようにがん相談支援センターを設置しています。来院された方に自由にお取りいただけるようにがんに関する冊子も揃えており、また、知りたい情報をパソコンでも検索していただけます。



※対面相談は事前に予約していただくとスムーズに対応できます。

電話：06-6443-1261（代表）

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～15:00

受付：1階 総合案内

対象：当院および当院以外の患者さまやそのご家族、
勤務関係者・地域住民の方

相談形態：電話・対面相談

場所：1階エレベーター下相談室

料金：無料

乳がん患者サロン「Happiness」

当院通院中の患者さまとご家族のサポートを目的に年3回開催しています。
（感染予防対策でオンライン開催）
お互いの悩みや不安の共有、情報交換の場としてご活用ください。

※次回は2023年3月。
詳細はホームページや院内ポスターでお知らせします。

住友病院 がん治療 サポート 体制



がん看護外来は、心身のつらさへの対処をはじめ、患者さまやご家族の大切になっている価値観を理解した上で治療の選択ができるように、主治医、関係部署と連携して支援することを目的としています。

- ・痛みをはじめ苦痛な症状がある
- ・気持ちのつらさがある
- ・治療について分からない、不安
- ・介護が必要なときの生活についてなどの悩みに、専門看護師・認定看護師が対応いたします。

受診を希望される方は、主治医またはがん相談支援センターへお申し出ください。

③ がん看護

がんのリハビリテーションとは、がん治療を行う患者さまの生活機能と生活の質（QOL）の改善を目的とする医療ケアです。従来のリハビリテーションとは異なり、がんの治療や経過中に失われる身体的機能低下や体力低下を予防することを目的としています。

当院では、がんのリハビリテーション研修を修了した理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が担当医や看護師、緩和ケアチームと一緒に病棟カンファレンスに参加しています。多職種とのカンファレンスで得られた情報を共有してがん患者さま各個人に最適なリハビリテーションを行っています。



④ がんリハビリ

がん患者さまの中には、治療により食欲低下や味覚の変化などで食事が少なくなる方がいます。でもその治療においては栄養状態を改善し、免疫力を上げておくことが大切です。そのため当院では、嗜好や要望を聞きながら食べやすいと思われる食種の提案や、主食を麺類やパンに変更するなどの栄養サポートを行っており、少しでも多く食べていただけるように努めています。

⑤ 栄養サポート



医療福祉相談室には、看護師2名と社会福祉士3名の計5名が在籍しています。

医療福祉相談室は、病気によって引き起こされる患者さまやご家族の様々な心配事を一緒に解決できるようにサポートし、安心して治療に専念いただけるよう環境を整えていく部署です。

介護保険などの制度や医療費に関すること、転院や施設入所に関するご相談に対応しています。在宅療養をご希望の方には、ご自宅で訪問診療や訪問看護、介護保険サービス等を利用いただけるようサポートもします。

予約制ですので、相談時には主治医や看護師を通じてお申し出ください。

⑥ 医療福祉相談室





連携医療機関のご紹介

住友病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現を目指しています。このコーナーでは、当院の連携医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

医療法人天星 ほしやまクリニック

診療科目：泌尿器科

〒530-0001 大阪市北区梅田1-8-16 ヒルトンプラザイースト 4F
TEL. 06-6343-3511



院長 星山 文明 Fumiaki Hoshiyama

【アクセス】

Osaka Metro四つ橋線西梅田駅、
阪神本線大阪梅田駅から徒歩すぐ
その他、JR・Osaka Metro各線より
徒歩圏内

<https://hoshiyama-clinic.net/>



ハイブランドも入店しているヒルトンプラザイーストの4階にあるほしやまクリニック。大阪・梅田にあり各路線から徒歩圏内のおしゃれなクリニックです。

▶一般的な泌尿器疾患に加え、男性更年期障害治療にも力を入れていらっしゃいますね。

まだまだ認知度の低い男性更年期障害ですが、加齢やストレスによる男性ホルモンの低下が起因しています。疲労感や倦怠感などの身体的不調、気力の衰えやイライラ、抑うつなど症状は多岐にわたります。当院では「メンズヘルス外来」を開設し専門に診療しています。また、女性の泌尿器疾患のお悩みにも対応しており、女性医師による診療も可能です。

▶メディカルフィットネスジム「DUOLAB.」も併設されています。

専門医としての医学的な視点に加えて、専門のトレーナーによる運動プログラムの提供を通して、活力ある生活へと改善できるようサポートしています。

▶訪問看護ステーションも運営されていますね。

はい。専門医として自宅での排尿ケアの提供を通して地域の皆さまが病気を治療しながら住み慣れた自宅で過ごせるよう取り組みんでいます。

▶メッセージをお願いします。

オフィス街の“救急箱”として、近隣で働く方々や地域の皆さま一人ひとりに寄り添った治療を提供したいと思っていますので、お気軽にご相談ください。

もりかわ内科クリニック

診療科目：内科、消化器内科、肝臓内科

〒553-0004 大阪市福島区玉川14-14-11 TEL. 06-6443-1522



院長 森川 浩安 Hiroyasu Morikawa



【アクセス】

Osaka Metro千日前線玉川駅から徒歩2分
JR大阪環状線野田駅から徒歩5分

<https://morikawa-medical.jp/>



森川浩安院長のご専門である肝臓内科を標榜しているもりかわ内科クリニック。「健康寿命の延伸への貢献」を目的とされています。

▶肝臓内科がご専門とおうかがいしました。

肝臓・消化器内科を専門としてきました。そのため、健康診断で脂肪肝や肝機能異常を指摘され受診される方も多数おられます。例えば肝機能異常があったとしても、いきなり投薬治療をスタートするのではなく、食事や運動療法等、患者さまの生活の見直しを含めトータルでフォローし、症状改善できるよう心がけています。また、B型・C型肝炎等の専門的な診療を要する患者さまも受診されています。

▶検査機器も充実されていますね。

はい、超音波検査と胃カメラ検査が可能です。超音波検査は診察室内にていつでも行えるようにしており、肝臓の硬さ(肝硬度)を判別する肝硬度測定(エラストグラフィ検査)も可能です。胃カメラは予約制ですが、鎮静下で行うことがほとんどです。また、大阪市の胃がん検診の取扱医療機関にも指定されています。

▶メッセージをお願いします。

消化器内科を中心に生活習慣病全般の診療が可能です。その他にも予防接種や急な発熱への対応等、地域のニーズに応じた医療提供体制を整えていますので、お困りのことがあればまずはお気軽にご相談ください。



乾燥肌にご注意！

皮膚科 診療主任部長 庄田 裕紀子



最近体が痒くなったり、入浴すると脚がチクチクしたりしていませんか？ その症状、乾燥肌かもしれません。放置していると右の写真のような大変なことになるですよ。皮膚は体を過酷な環境の刺激から守る重要な臓器です。特に表面の角層、そうです、垢の層は有能なゴールキーパーなんです！



健全な角層には天然保湿成分がたっぷり染みこんでいるので、お風呂でゴシゴシこすり落とすのは勿体ない！乾燥予防＝角層のお手入れです。皆さん、保湿では成分が重要と思われがちですが、むしろ充分な油分を与えるのが最も有効です。油分を含んだ角層は皮膚の柔軟性と弾力を向上させます。サラサラしたローションやジェルなどを好む方が大勢いますが、すぐに蒸発してしまい、効果は継続しません。そこで、クリームや軟膏をべたつかせずに皮膚に塗るコツをお教えしましょう。クリームや軟膏を手の平全体にたっぷりのせて、腕や下肢の肌に手のひら全体でまんべんなく塗りつけてから力を込めてマッサージするように揉みこんでください。時間はかかりますが、ベタベタがしつとりになくなっていきます。角層の上に撫でつけるのではなく、染みこませるのがコツです。手にハンドクリームを塗る方法も一緒。少々の手洗い、アルコール消毒でも耐えられる手になり、ひび割れやあかざれができなくなります。ただし、

手は日中頻繁にクリームを塗ることをお忘れなく。水仕事が多い人、アルコール消毒頻度が高い人には、クリーム系よりも白色ワセリンのような軟膏の方が水などで流れ落ちにくいので、お勧めです。

手や体を充分保湿しているのに、皮膚の痒みや炎症が改善しなければ、病気などの原因が隠れているかもしれません。そのときは皮膚科で精査いたします。石鹸や洗剤、化粧品などによるアレルギー性のかぶれや、薬疹、その他の皮膚疾患などを鑑別する必要があります。抗がん剤治療中の患者さまも高度の乾燥肌になりやすいので、できるだけ治療早期から市販の保湿クリームでしっかり保湿ケアをすることをお勧めします。それでも不十分なときは、どうぞ皮膚科を受診してください。写真のような症状で、保湿せずに薬だけつける患者さまが大勢おられますが、それでは治りませんよ。必ず先にしっかり保湿した上で薬を併用すると、皮膚炎はきれいに改善します。保湿をしてはいけない皮膚疾患はありませんので、まずは保湿ケアを試してみてください。



医療機関の皆様へ【検査・診療予約のご相談はこちらまで】

住友病院 地域医療連携室 TEL. 06-6447-3031(直通) FAX. 06-6447-3052
受付時間／平日 8:30～19:00



ちょっと足を延ばして…

大阪中之島美術館

住友病院から徒歩15分ほどにある大阪中之島美術館は、2022年2月2日に開館した新しい美術館です。

1983年に美術館構想が発表されてから約40年の年月を経て完成した美術館は、大阪と世界の近代・現代美術とデザインをテーマとするコレクションを核に、アートの新たな価値を提示する展覧会や多彩なイベントを開催しています。少し足を延ばして大阪中之島美術館を訪ねてみてはいかがでしょうか。

大阪中之島美術館 大阪市北区中之島4-3-1

美術館や展覧会の詳細はホームページを参照ください。 <https://nakka-art.jp/>



開催
予定

開館1周年記念特別展 大阪の日本画

会 期:2023年1月21日(土)～4月2日(日) ※月曜日(3月20日除く)休館

開場時間:10:00～17:00(入場は16:30まで)

会 場:大阪中之島美術館 4階展示室

明治から昭和に至る近代大阪の日本画に光をあて、50名を超える画家による約150点の作品を展示。また、作品が生まれた背景にも目を向けることで、個々の作品の魅力や画壇のあり方をより深く知るとともに、今につながる大阪の街の文化を浮き彫りにします。

展覧会についてのお問い合わせ先 TEL(06)4301-7285(大阪市総合コールセンター)

受付時間 8:00～21:00(年中無休)



INFORMATION



11月14日(月) 第7回世界糖尿病デーイベントを開催しました!

コロナ禍において、過去2年間ポスター展示だけの開催でしたが、3年ぶりに参加型の院内イベントとして復活しました。

午前中のみで開催でしたが「久しぶりに刺激をうけて良かった」「最新の情報を知ることができ、今後の治療で先生から教えていただけることが理解しやすくなった」など、嬉しいお言葉を多数いただきました。



2022年度市民公開セミナー開催予定

当院では、市民の皆さまに医療に関する理解を深めていただき、健康促進にお役立ていただくことを目的にセミナーを開催しています。2022年度はウェビナーを使用したオンラインセミナーを行っています。参加費は無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。



日時	テーマ(仮題)	担当(予定)
2023年 3月24日(金)14:00～15:00	住友病院がん診療センター	外科・泌尿器科

※セミナー開催予定は予告なく変更する場合がございます。スケジュール、最新情報、申し込み方法等詳細は、当院ホームページでご確認ください。

今号の広報誌「Sound」の取材に関しては、マスク着用の上実施し、撮影時のみマスクを外して行っています。

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20

TEL.06-6443-1261(代表)

【受付時間】 8:30～11:30、12:30～15:00

“Sound”には、「音」のほかに「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。

住友病院だより「Sound」 ◎発行人:金倉 譲 ◎編集:布部 真哉、西野 秀、増田 亮、中村 梓

「こんなことが知りたい」など、本誌についてのご意見・ご感想を当院ホームページの「お問い合わせ」フォームにぜひお寄せください。よりよい誌面づくりの参考にさせていただきます。住友病院だより【Sound vol.56】2023年1月1日発行



住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。

住友病院

住友病院

検索

